

第9回 史跡江戸城外堀跡保存活用計画策定委員会 会議要録

- I 日 時 : 令和8年2月5日(木) 18時30分～20時00分
- II 会 場 : 神保町出張所・区民館 2階 洋室
- III 出席者 : 委員長 : 谷川 章雄(早稲田大学人間科学学術院名誉教授)
副委員長 : 吉田 ゆり子(東京外国語大学総合国際学研究院名誉教授)
委 員 : 齋藤 慎一(公益財団法人東京都歴史文化財団・江戸東京たてもの園
学芸員(専門調査員))
委 員 : 杉崎 和久(法政大学法学部政治学科教授)
委 員 : 小野 良平(立教大学観光学部観光学科教授)
欠席委員 : 中澤 克昭(上智大学文学部教授)
欠席委員 : 佐藤 信 (東京大学名誉教授・横浜市歴史博物館館長)
欠席委員 : 窪田 亜矢(東北大学大学院工学研究科教授)

※順不同、敬称略

オブザーバー

文化庁 文化財第二課 史跡部門【オンライン出席】
東京都 教育庁地域教育支援部 管理課 埋蔵文化財担当

事務局

千代田区 地域振興部 文化振興課
港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課
新宿区 文化観光産業部 文化観光課

事務局補助

株式会社パスコ

IV 議 事

1 確認事項について

【確認事項】 前回委員会の議事録の確認

- ・事務局より、第 8 回委員会の議事録の修正箇所について報告した。
- これをもって第 8 回委員会の議事録を確定とした。

2 審議事項について

【審議事項 1】 計画策定の沿革について

- ・事務局より、計画の第1章「計画策定の背景・目的」の文案について説明した。
- これまでの文案と比べてコンパクトになったが、史跡江戸城外堀跡の位置づけについては、まずは江戸城の外堀（総堀）としての価値を前提に、今回の計画で対象とする史跡指定範囲を考えるべきとの指摘があった。また、江戸城の「城」の範囲はあくまでも内郭の範囲であり、外堀の内側の城下町全体を捉えた範囲が「惣構」であるという理解でこれから計画書全体の書きぶりをと問えるべきだという意見があった。また、範囲については、史跡指定範囲外のエリアを本計画でどのようにとらえるか（景観を含む）を今後引き続き議論する必要があるという指摘があった。

【審議事項2】 史跡等の本質的価値と構成要素について

- ・事務局より、史跡江戸城外堀跡の「本質的価値」について、資料をもとに説明した。「本質的価値」については、『江戸城外堀跡保存管理計画』の歴史的特性を土台にしながら、これまでの調査・研究の成果を踏まえて見直し、本質的価値を 4 項目、本質的価値に付随する価値を 2 項目とする案を提示した。
- 本質的価値と本質的価値を付随する価値の 2 つをもって史跡江戸城外堀跡の「本質的価値」と理解するフレームについては、オブザーバーの文化庁からも賛同を得られた。その上で、「近代」の扱いについては、本質的価値に含むか、本質的価値に付随する価値の方にまとめるかで意見が割れたため、次回修正して再度提案することとなった。景観については、それ自体が歴史的価値のある「風致」と、現代的視点からの史跡をめぐる風景は異なるため、整理すべきとの指摘があった。

3 連絡事項について

- ・次回委員会は 3 月頃の開催を予定しているが、改めて日程調整を行うこととなった。